



きこえとことばの教室だより



武蔵村山市立第九小学校 校長 村山 博子
令和4年3月14日（月）NO.5 きこえとことばの教室

今年度もありがとうございました

新年を迎え、さあ3学期が始まったと思ったら、もう今年度も終わりに近づきました。

この2年は、コロナ渦のため、あわただしい中であつという間に過ぎ去りました。あと数日となった3学期ですが、それぞれの学年のまとめと、次の学年への準備に追われていることでしょう。特に6年生は中学校への進学に向けて、多くの期待と不安の中で毎日を過ごしているのかもしれませんが。4月以降、急に今の状況が改善する見通しも立たない状況です。

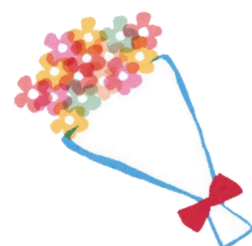
それでも、通常の様々な行事が中止や延期になる中、それぞれの在籍校で一人一人が自分の課題の解決に取り組んで来られたのは、御家庭と在籍校と通級の担当者が連携して、教室に通う子供たちを支えていただいたからこそと考えます。

以前からお伝えしているように、通級は原則として、長期間通う場所ではなく、課題が改善されたら、随時退級していくところです。そのため、入級してから1年ごとに通級を継続するかどうかを検討します。一定の期間通級しても課題の改善があまり見られなかったり、複数の課題を抱えていたりするお子さんの場合には、次のステップの指導や他の対応の手立てを考える必要があります。新年度に向け、常に子供たちの状態を周囲の大人が正しく把握し、その子にどのような支援が必要なのか考え、より効果的な指導を目指して取り組んでいきたいと思えます。来年度もどうぞよろしくお願いたします。

第九小学校校長 村山 博子

*新年度の予定につきましては、担当者から御連絡いたします。

ご不明な点がありましたら、九小きこえとことばの教室042-563-9594 まで御連絡ください。



1年間、保護者の皆様には通級指導への御理解と御協力をいただき誠にありがとうございました。早いもので、今年度の通級指導が終了しようとしています。この1年間で、子供たちは心も体も大きく成長したことと思います。御家庭でもお子様と一緒に今年度を振り返り、1年間の成長を褒めていただきたいと思います。

今年度最後の教室だよりでは、通級で成長が見られたことやできるようになったことについて、児童や保護者の皆様から教室に寄せられた御意見（一部抜粋）をご紹介します。

<高学年A君>

ぼくはきこえとことばの教室で学べて良かったです。漢字とアルファベットとパソコンを勉強しました。漢字テストの10問テストでは、いつもほぼ80点以上とることができるようになりました。勉強が終わったらサッカーやドッジボールや的当てで遊んで楽しかったです。中学校に行っても自分の勉強のやり方ががんばります。



<高学年Bさんと、Bさん保護者>

お母さん「手を挙げて発言するのを少しためらっていた時期がありましたが、現在は手を挙げられるようになりました。自宅でも練習をよく頑張り、発音がよくなりました。歌も英語も上手になってくれて嬉しいです。」

Bさん「以前は発音などを気にして伝えたいことが伝えられなかったことも多かったですが、発音が改善したおかげで友達と会話することも楽しくなった気がします。それ以外でも友達関係で悩んだ際に相談に乗ってくれて嬉しかったです。それもあって今は楽しく過ごせています。卒業した後も教室で学んだことを生かし頑張りたいです。」

<高学年Cさん保護者>

入学当初から教室に通っています。低学年の頃は、自分だけ教室に通うことに抵抗があり、吃音のことを隠そうとしていましたが、今は吃音の事を理解し、周りの仲の良い友達には吃音のことを話せるようになりました。また、少しずつですが、自分からみんなの前立って発言をしたり、発表したりする事ができるようになってきたように思います。吃音のことで諦めてしまうこともまだまだたくさんありますが、それでもやってみたいと思った時に踏み出せる勇気がついてきたことが、とても嬉しく感じる今日この頃です。

